

網屋吉兵衛顕彰碑 波止場町



網屋吉兵衛（1785～1869）はニツ茶屋村に生まれ、1855（安政2）年に神戸村安永新田の地（新港第一突堤付近）に船たで場を築いた事で知られている。船たで場とは現在のドックに相当するもので、船底についた貝殻や船虫などを焼くための施設であった。後に、この船たで場の地は勝海舟の進言で幕府の海軍操練所となった。

場所：神戸市中央区波止場町1

（元の場所：新港町。新港第一突堤の付け根付近にあったが、その北側の京橋のたもと付近に移設されている）

- 「新港町（しんこうちょう）」の由来
新しい港ということから付けられたという。